



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場会社名 株式会社駅探 上場取引所 東
 コード番号 3646 URL http://www.ekitan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理管掌 (氏名) 柳 象二郎 TEL 03-6367-5951
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	711	△0.9	117	△2.0	118	△1.1	78	0.3
2019年3月期第1四半期	718	—	119	—	119	—	78	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 78百万円 (△0.5%) 2019年3月期第1四半期 79百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	14.40	14.32
2019年3月期第1四半期	14.50	14.39

(注) 2018年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	3,320	2,859	86.1
2019年3月期	3,304	2,835	85.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 2,859百万円 2019年3月期 2,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	1,437	△3.5	173	△33.7	173	△33.7	116	△32.0	21.11
通期	3,264	7.5	329	△31.5	329	△31.5	220	△25.0	40.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	6,888,800株	2019年3月期	6,888,800株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,410,716株	2019年3月期	1,410,716株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	5,478,084株	2019年3月期1Q	5,420,783株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算補足資料は2019年8月9日（金）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(セグメント情報)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な貿易摩擦や東アジアの政治情勢などの懸念材料はあるものの、国内企業の堅調な設備投資や良好な雇用環境を受けて、依然として緩やかな景気回復が続いています。

当社の創業事業である乗換案内サービスは、日常生活での人々の移動をサポートする、利用頻度の高いサービスとして世の中に広く定着しており、サービスの成熟期を迎えつつも、底堅い需要が継続しております。また、「働き方改革」に代表されるような、企業の生産性向上・業務効率化ニーズは、ますます高まりを見せております。

このような状況下、当社グループは、法人の業務効率化ニーズの高まりや移動手段の多様化などの市場動向に対応する分野を成長領域と設定し、新たな成長領域の開拓により収益基盤の強化・多様化を行うべく、事業展開を進め、引き続き法人向け事業セグメントの強化に邁進いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は711,734千円（前年同四半期比0.9%減）、営業利益は117,078千円（前年同四半期比2.0%減）、経常利益は118,103千円（前年同四半期比1.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は78,859千円（前年同四半期比0.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①コンシューマ向け事業

コンシューマ向け事業につきましては、乗換案内月額課金サービスは、売上高は減少傾向ながらも積極的なプロモーションによる減収抑制により底堅く推移しており、トラベル事業は前期に引き続き伸長しました。その結果、売上高は489,018千円（前年同四半期比2.0%減）、セグメント利益は116,076千円（前年同四半期比11.7%減）となりました。

②法人向け事業

法人向け事業につきましては、ASP・ライセンスビジネスは、新規顧客等からの案件獲得が好調であり、また、前期に受注いたしました大型のシステム開発案件も順調に開発進行しており、B T M（ビジネストラベルマネジメント）分野も含め、既存顧客との取引も堅調に推移しました。その結果、売上高は222,715千円（前年同四半期比1.6%増）、セグメント利益は89,210千円（前年同四半期比25.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,849,310千円となり、前連結会計年度末に比べ40,781千円減少しました。これは主に、売掛金の減少27,685千円、現金及び預金の減少16,671千円によるものであります。固定資産は471,077千円となり、前連結会計年度末に比べ57,019千円増加しました。これは主に、有形固定資産の増加60,809千円によるものであります。この結果、総資産は3,320,388千円となり、前連結会計年度末に比べ16,237千円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は425,374千円となり、前連結会計年度末に比べ26,579千円減少しました。これは主に、買掛金の減少44,811千円によるものであります。固定負債は35,493千円となり、前連結会計年度末に比べ18,738千円増加しました。これは主に、資産除去債務の増加24,053千円によるものであります。この結果、負債合計は460,868千円となり、前連結会計年度末に比べ7,840千円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,859,520千円となり、前連結会計年度末に比べ24,078千円増加しました。これは、利益剰余金の増加24,078千円によるものであります。この結果、自己資本比率は86.1%となり、前連結会計年度末に比べ0.3ポイント上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日に公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,407,860	2,391,188
売掛金	455,411	427,726
仕掛品	—	866
原材料及び貯蔵品	73	73
その他	26,983	29,681
貸倒引当金	△236	△226
流動資産合計	2,890,092	2,849,310
固定資産		
有形固定資産	38,533	99,342
無形固定資産		
その他	128,149	124,287
無形固定資産合計	128,149	124,287
投資その他の資産	247,375	247,447
固定資産合計	414,058	471,077
資産合計	3,304,150	3,320,388
負債の部		
流動負債		
買掛金	124,873	80,062
未払法人税等	63,641	43,308
賞与引当金	33,846	15,114
役員賞与引当金	21,266	—
移転損失引当金	24,676	10,839
資産除去債務	14,700	—
その他	168,950	276,049
流動負債合計	451,954	425,374
固定負債		
資産除去債務	—	24,053
その他	16,754	11,439
固定負債合計	16,754	35,493
負債合計	468,709	460,868
純資産の部		
株主資本		
資本金	291,956	291,956
資本剰余金	303,883	303,883
利益剰余金	2,965,066	2,989,145
自己株式	△725,465	△725,465
株主資本合計	2,835,441	2,859,520
純資産合計	2,835,441	2,859,520
負債純資産合計	3,304,150	3,320,388

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	718,266	711,734
売上原価	239,714	258,870
売上総利益	478,551	452,864
販売費及び一般管理費	359,091	335,785
営業利益	119,460	117,078
営業外収益		
受取利息	39	19
未払配当金除斥益	18	87
協賛金収入	—	925
その他	1	16
営業外収益合計	59	1,050
営業外費用		
支払利息	152	26
営業外費用合計	152	26
経常利益	119,367	118,103
特別利益		
資産除去債務取崩益	756	—
特別利益合計	756	—
特別損失		
固定資産除却損	1,412	0
特別損失合計	1,412	0
税金等調整前四半期純利益	118,711	118,103
法人税等	39,443	39,243
四半期純利益	79,267	78,859
非支配株主に帰属する四半期純利益	646	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	78,621	78,859

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	79,267	78,859
四半期包括利益	79,267	78,859
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,621	78,859
非支配株主に係る四半期包括利益	646	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	コンシューマ向け事業	法人向け事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	499,042	219,223	718,266
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	499,042	219,223	718,266
セグメント利益	131,475	71,155	202,630

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	202,630
全社費用(注)	△83,170
四半期連結損益計算書の営業利益	119,460

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	コンシューマ向け事業	法人向け事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	489,018	222,715	711,734
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	489,018	222,715	711,734
セグメント利益	116,076	89,210	205,287

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	205,287
全社費用(注)	△88,208
四半期連結損益計算書の営業利益	117,078

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。